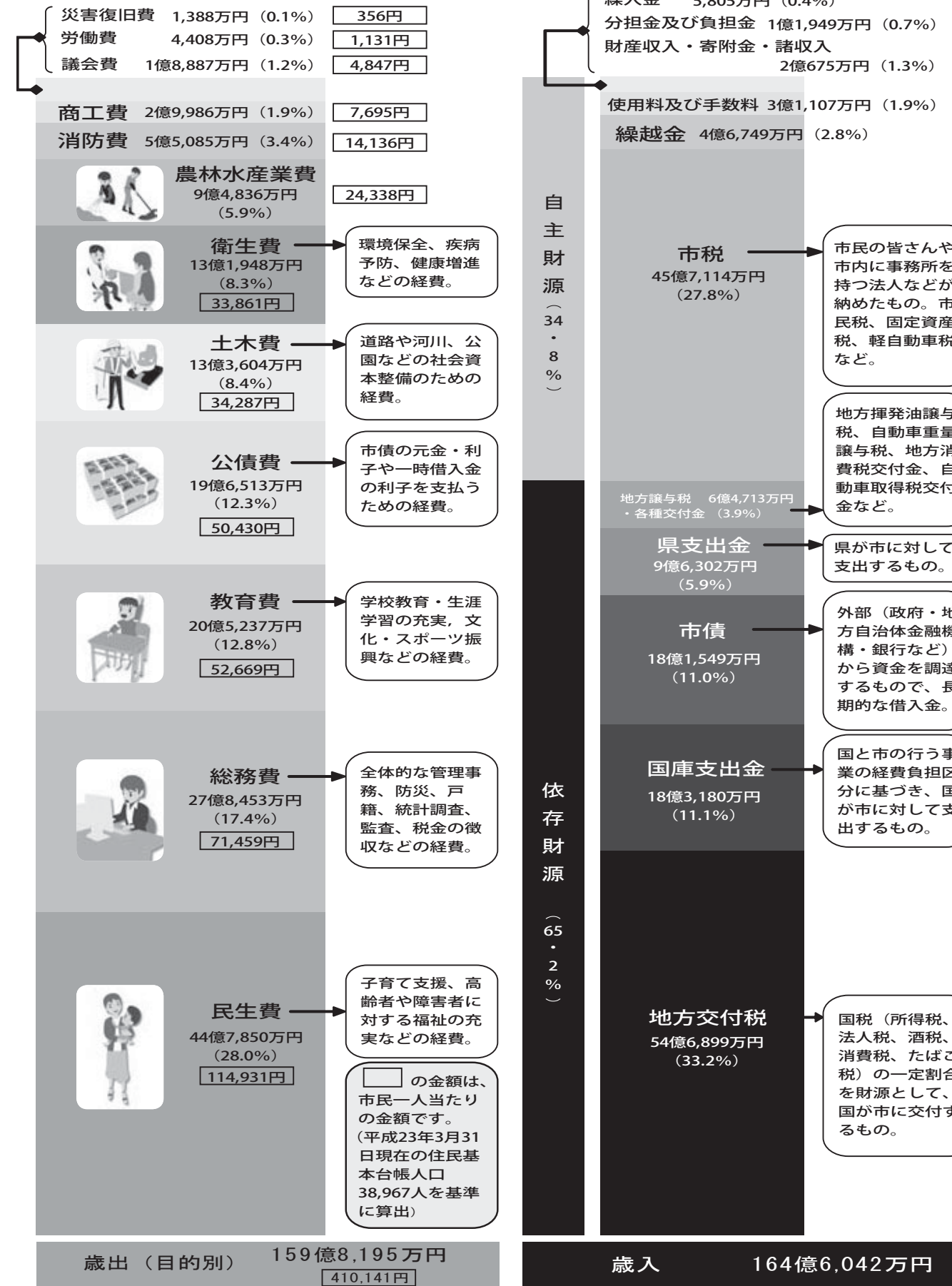
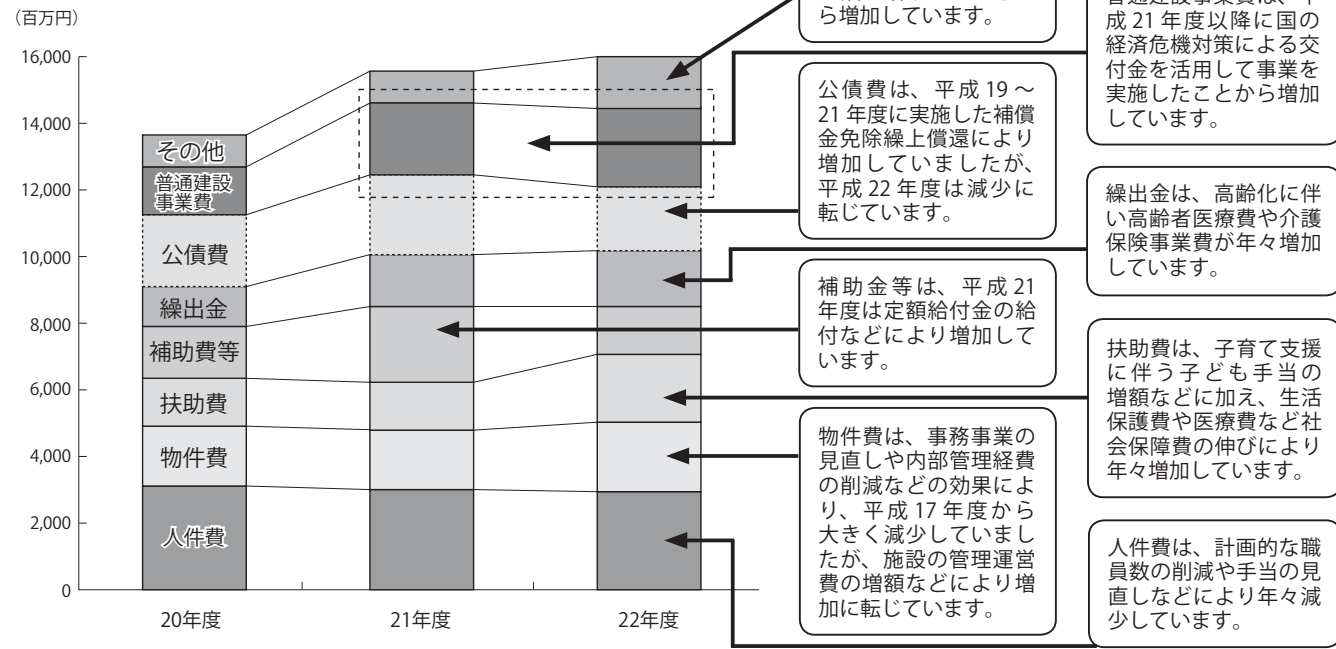


# 特集 瀬戸内市の財政状況

## 平成22年度普通会計決算



## 普通会計歳出決算額 (性質別) の推移



## 会計別決算

区分	歳入額 万円	歳出額 万円	差引額 万円
一般会計	1,646,649	1,598,802	47,847
国民健康保険	410,180	396,662	13,518
裳掛診療所	3,349	3,329	20
美和診療所	2,069	2,048	21
介護保険	326,753	326,062	691
老人保健	511	511	0
後期高齢者医療	41,599	41,582	17
農業集落排水事業	27,067	27,013	54
漁業集落排水事業	3,019	2,969	50
下水道事業	276,606	271,930	4,676
土地開発事業	11,224	3,362	7,862
公共用地先行取得事業	510	510	0
計	2,749,536	2,674,780	74,756
事業会計	114,070	109,064	5,006
水道事業会計	92,053	81,617	10,436
計	206,123	190,681	15,442

※事業会計については、収益的収入および収益的支出を計上しています。

## 財政健全化判断比率等

指標	市の比率 %	早期 (経営) 健全化比率 %
健全化判断比率		
実質赤字比率	—	13.21
連結実質赤字比率	—	18.21
実質公債費比率	16.5	25.0
将来負担比率	101.3	350.0
資金不足比率 (公営企業ごと)	—	20.0

※1 「—」の表示は該当なしを表しています。  
 ※2 早期 (経営) 健全化比率は基準値です。

## 決算の概要

平成22年度の普通会計の決算額は、歳入164億6,042万円に対して、歳出が159億8,195万円であり、平成23年度へ繰り越した事業の財源を差し引いた3億6,049万円が実質的な黒字となりました。

## 財政指標

財政構造の弾力性を判断するための経常収支比率は79.4%と5.9ポイント改善しました。しかし、地方交付税や臨時財政対策債といった一時的な財源の増加による影響

が大きく、財政の硬直化が改善されたとは一概には言えない状況です。また、財政健全化法に基づく指標はいずれも財政の早期健全化が義務付けられる早期健全化基準を下回っていません。実質公債費比率は、16.5%と1.1ポイント改善し、昨年度から引き続き、市債発行に県の許可が必要となる基準である18%以下を維持しています。